

淀川水系淀川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【中期河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/200の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、中期(令和14年頃)の淀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、年超過確率1/200(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/200(0.5%))の降雨に伴う洪水により淀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和47年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

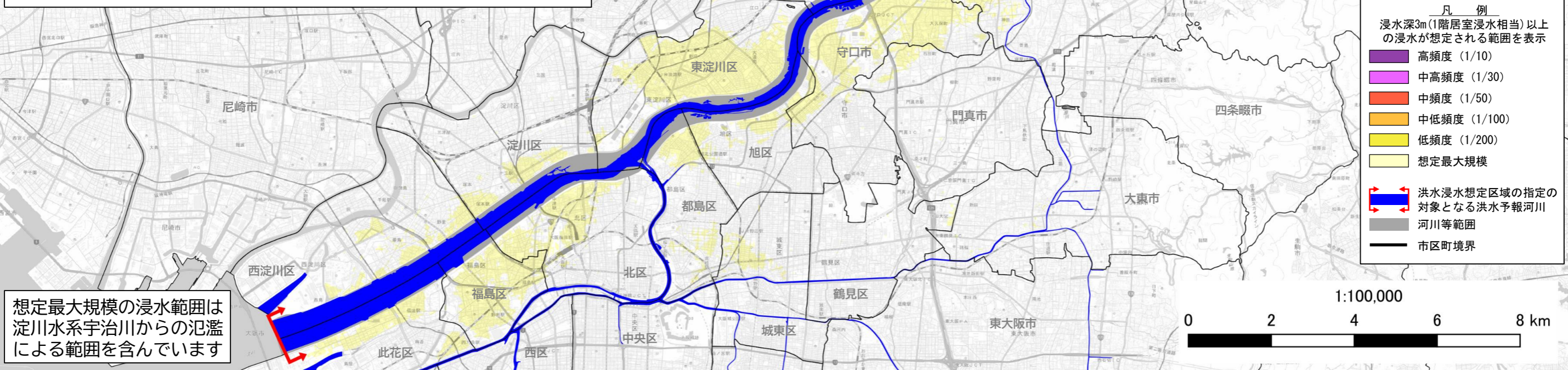
2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和5年3月17日
- (2) 作成主体及び対象となる河川
 - 国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所：淀川水系淀川
- (3) 実施区間

【淀川河川事務所】

 - 淀川水系淀川 左岸：桂川、宇治川、木津川三川の合流点から海まで
 - 右岸：桂川、宇治川、木津川三川の合流点から海まで
- (4) 算出の前提となる降雨
 - 年超過確率1/10 (淀川流域の24時間の総雨量163mm)
 - 年超過確率1/30 (淀川流域の24時間の総雨量199mm)
 - 年超過確率1/50 (淀川流域の24時間の総雨量216mm)
 - 年超過確率1/100 (淀川流域の24時間の総雨量238mm)
 - 年超過確率1/200 (淀川流域の24時間の総雨量261mm)
- (5) 河道条件：中期(令和14年頃)
- (6) 関係市町村 八幡市、大山崎町、大阪市、吹田市、豊中市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、寝屋川市、大東市、門真市、摂津市、東大阪市、島本町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



想定最大規模の浸水範囲は淀川水系宇治川からの氾濫による範囲を含んでいます